

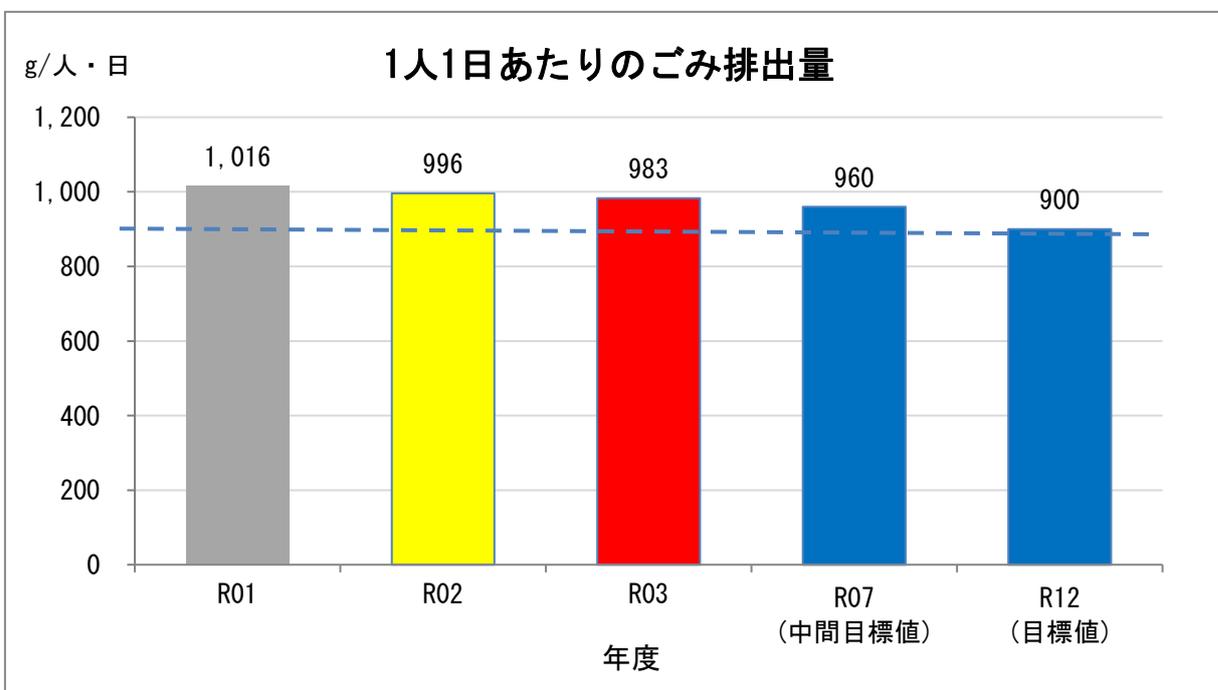
一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の数値目標の達成状況について

【指標No.1】 1人1日あたりのごみ排出量

(1) 実績と数値目標

(単位：g/人・日)

		実績	基準値・目標値との比較		
			R01	R07	R12
基準値・目標値		-	1,016	960	900
実績	R02	996	△20	36	96
	R03	983	△33	23	83



※ 基準値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における基準とした数値（令和元年度実績値）

※ 目標値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画におけるR7年度目標値及びR12年度目標値

(2) 状況分析

令和3年度の実績は、R12年度目標値を83g/人・日超過する結果となりました。

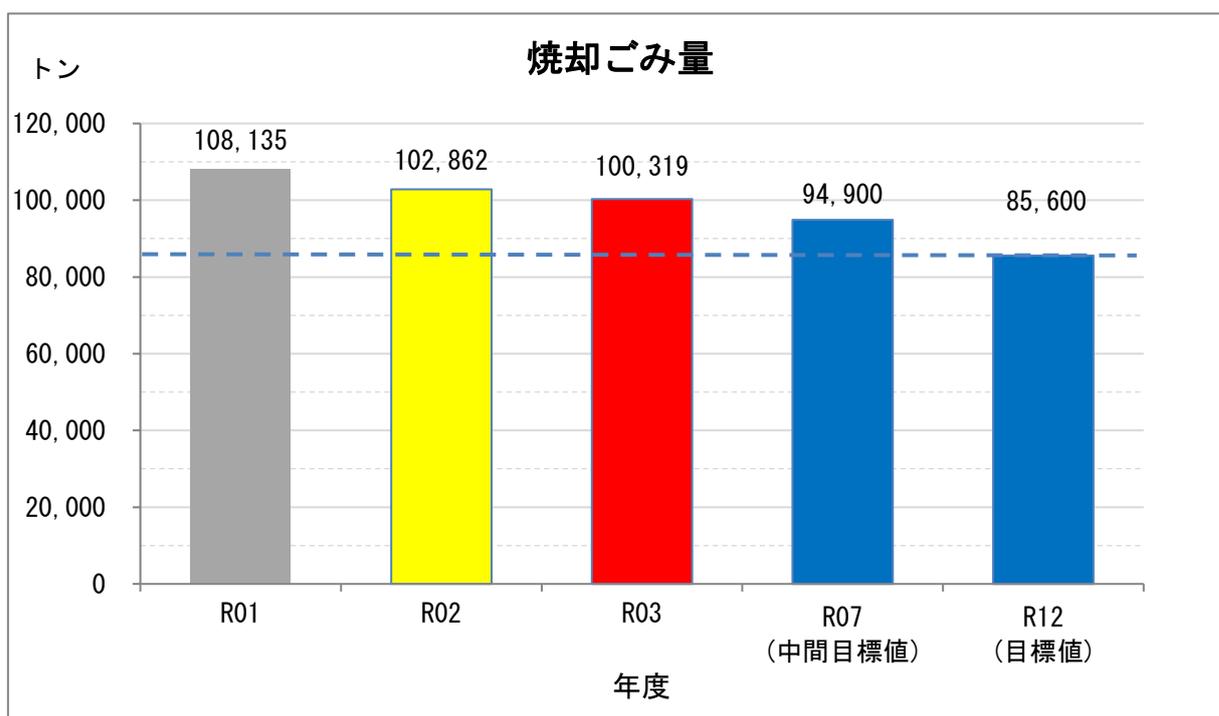
1人1日あたりのごみ排出量は、前年度に引き続き減少していますが、令和3年3月に改定した基本計画で位置付けている目標値（令和7年度：960g/人・日、令和12年度：900g/人・日）を達成するためには、これまで以上に、ごみの発生・排出抑制を図る必要があります。

【指標No.2】焼却ごみ量

(1) 実績と数値目標

(単位：トン)

		実績	基準値・目標値との比較		
			R01	R07	R12
基準値・目標値		-	108,135	94,900	85,600
実績	R02	102,862	△5,273	7,962	17,262
	R03	100,319	△7,816	5,419	14,719



※ 基準値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における基準とした数値（令和元年度実績値）

※ 目標値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画におけるR7年度目標値及びR12年度目標値

(2) 状況分析

令和3年度の実績は、R12年度目標値を14,719トン超過する結果となりました。

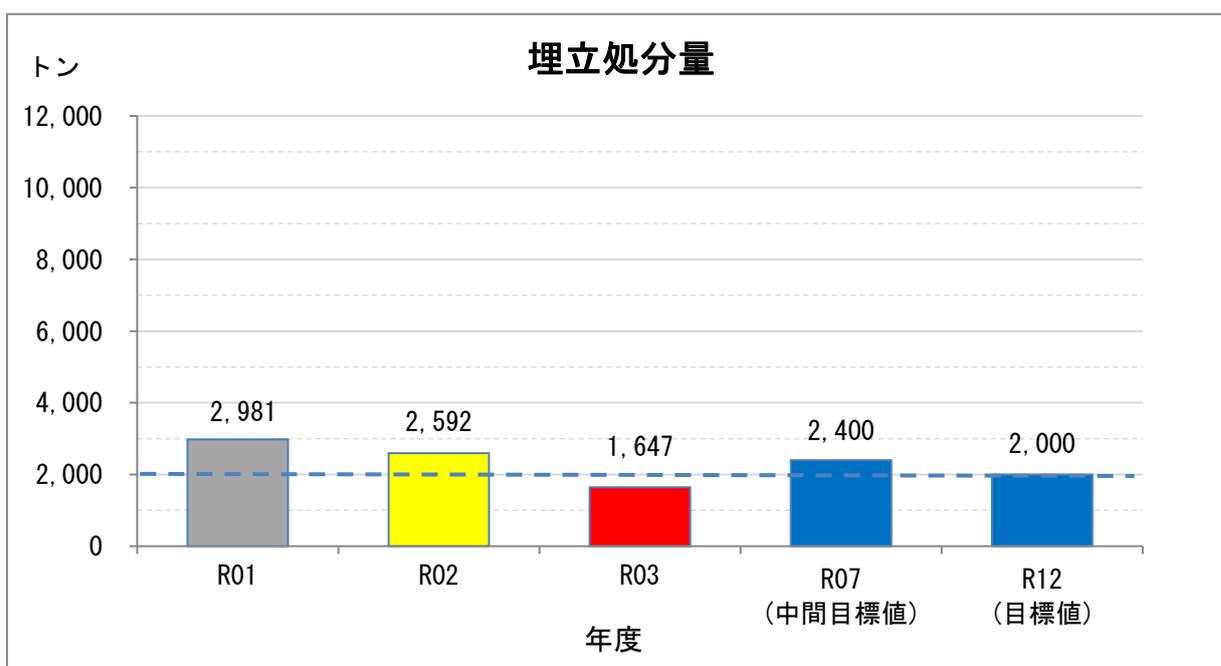
焼却ごみは、前年度に引き続き減少していますが、令和3年3月に改定した基本計画で位置付けている目標値（令和7年度：94,900 t/年、令和12年度：85,600 t/年）を達成するためには、更なる減量が必要であることから、適正分別による混入ごみの減少や、生ごみの水切りなどによる減量努力によって、焼却ごみの発生・排出抑制を図ります。

【指標No.3】埋立処分量

(1) 実績と数値目標

(単位：トン)

		実績	基準値・目標値との比較		
			R01	R07	R12
基準値・目標値		-	2,981	2,400	2,000
実績	R02	2,592	△389	192	592
	R03	1,647	△1,334	△753	△353



※ 基準値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における基準とした数値（令和元年度実績値）

※ 目標値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画におけるR7年度目標値及びR12年度目標値

(2) 状況分析

令和3年度の実績は、R12年度目標値を達成しました。

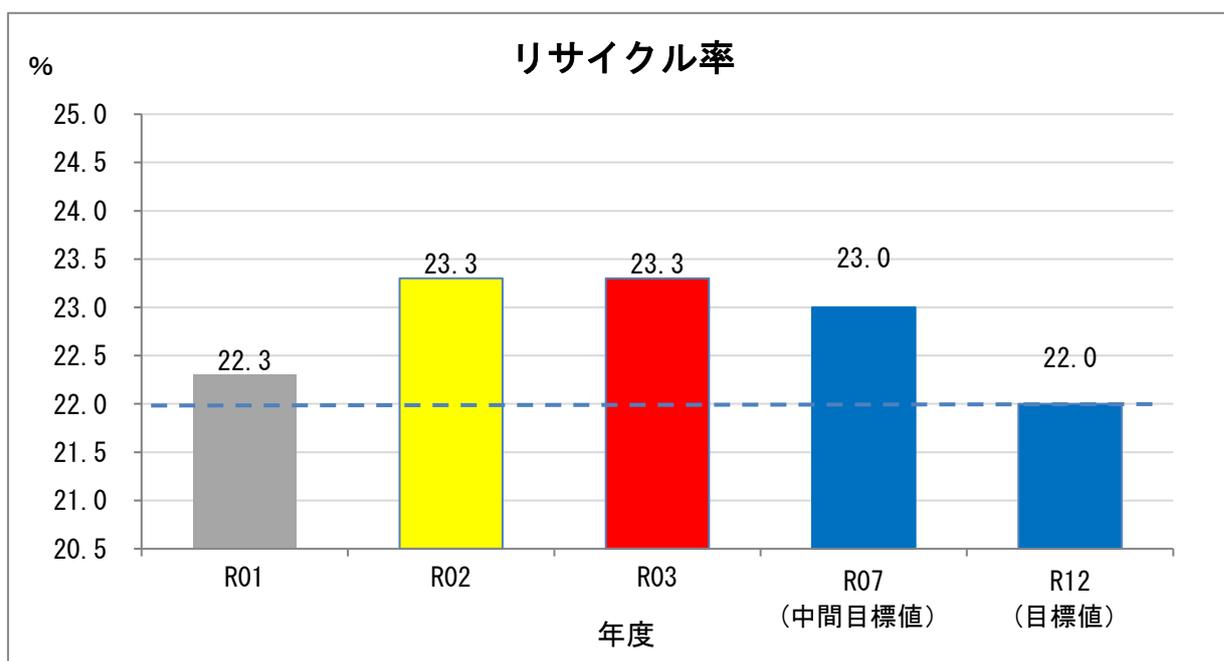
令和3年度は、令和2年度にクリーンピーの家資源選別施設の更新工事が完了したことや、山田粗大ごみ処理施設を廃止し、収集された小型家電・金属類の処理を、民間事業者でのリサイクル処理としたことから減少したものと推測されます。

【指標No.4】リサイクル率

(1) 実績と数値目標

(単位：%)

		実績	基準値・目標値との比較		
			R01	R07	R12
基準値・目標値		-	22.3	23.0	22.0
実績	R02	23.3	1.0	0.3	△1.3
	R03	23.3	1.0	0.3	△1.3



※ 基準値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における基準とした数値（令和元年度実績値）

※ 目標値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画におけるR7年度目標値及びR12年度目標値

(2) 状況分析

令和3年度の実績は、古紙の減少などにより、リサイクル率を向上させることが難しい状況ですが、資源ごみの収集量の増加や、焼却灰の全量リサイクルなどにより、昨年度のリサイクル率を維持している状況です。

令和3年3月に改定した基本計画で位置付けている目標値（令和7年度：23.0%、令和12年度：22.0%）を達成していくためには、今後も引き続き、ごみの発生・排出抑制と分別の徹底を図る必要があります。